

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

| | |
|------|------------|
| 区名 | 港区 |
| 学校名 | 大阪市立八幡屋小学校 |
| 学校長名 | 井原 高志 |

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立八幡屋小学校では、第6学年 26名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の国語科は全国・大阪市の平均正答率を超えることができた。算数科は全国・大阪市国平均正答率に達することはできなかかった。理科は全国・大阪市国平均正答率に達することはできなかかったが、その差は小さくなつた。平均無答率はすべての教科で全国・大阪市に比べて低く、すすんで回答している。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】 読解力を高めるため朝の学習時間に文章問題のドリルに取り組み、文章を正しく読み取る練習を重ねてきた。また、継続的に日記指導や1分間スピーチに取り組み、短い文章で適切に表現する練習を重ねた。その結果、今年度の全国学力・学習状況調査で全国・大阪市の平均正答率を超えることができた。学習指導要領の項目では、6項目中5項目で全国・大阪市の数値を超えることができた。

【算数】 本校は算数科の研究に取り組んでいる。少人数で学ぶ機会を多く持ち、自分なりの考えを持ち、友だちと意見を交流する授業を展開している。誤答が多かった問題については繰り返し学ぶ場を持ち、学習内容の定着を図っている。全校児童が同一の文章問題に毎週取り組む「ひらめきアタック」を実施している。基礎基本の学力の定着を目指し「放課後指導」にも取り組んでいる。毎年その成果は表れているが、今年度の全国学力・学習状況調査では全国・大阪市の平均正答率に達することはできなかつた。

【理科】 今年度より理科教育推進校に指定され理科支援員が配置されている。これまで以上に観察・実験が充実した学習指導が進められている。その結果、令和4年度の結果と比較すると全国・大阪市平均正答率との差は縮まつた。

質問調査より

児童質問紙「自分には、よいところがあると思う」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたいと思う」「人が困っているときは、進んで助けています」の項目において肯定的な回答をする児童の割合は大阪市・全国の値よりかなり高くなつていて。日々の教育活動において、児童の思いを大切にし、一人ひとりが自己実現できるような取り組みを推進した成果が見られる。それは、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」の項目での肯定的回答回答する児童の割合からもうかがえる。また、「学力向上支援チーム事業」や少人数指導によって、より分かりやすい授業を目指すとともに、自分の考えをもって主体的に学びをすすめる活動の推進の成果でもあると考える。

今後の取組(アクションプラン)

「全国学力・学習状況調査」の結果から算数科の学力向上を目指す。研究教科に算数科を位置づけ、全学年で授業研究に取り組む。今年度は「基礎基本の定着」「学びに向かう力も向上」に取り組むとともに「子どもの「わかった」「できた」を実感できる授業づくりを目指す。研究推進については「学力向上支援チーム事業」からスクールアドバイザーを講師に招き、指導を受ける。各学年での取り組みは他学年の指導にも活かすようにする。学校全体の取り組みとしては、少人数指導の実施、基礎基本の定着を目指した放課後学習の実施、文章問題の読解力を高めるために全学年で読解力ワークブックの実施、児童が主体的に文章問題にチャレンジする「ひらめきアタック」の実施など、個々の児童の課題を解決するような取り組みを日々重ねていく。